

# 議会だより

No.86

令和4年11月1日号

今月の渥美半島の花  
「アルストロメリア」



## 令和4年第3回定例会 (8/30~9/27)

- 定例会で決まったこと . . . . . 2 ページ
- 令和3年度決算 . . . . . 4
- 議案一覧・主な質疑 . . . . . 6
- 一般質問 . . . . . 8

## その他

- 行政視察報告 . . . . . 14
- 議員とたはらトーク . . . . . 16
- 議会の活動 . . . . . 17



地域の伝統文化を引き継ぎ明日へ

かやまち はやし  
萱町お囃子保存会の皆さん (インタビュー18ページ)

# など基盤整備を 度決算を認定

令和4年第3回 定例会 (8/30~9/27)

## このようなことが決まりました

市長提出議案	16件
議員提出議案	3件

令和4年第3回定例会を8月30日から9月27日まで開催しました。  
令和3年度決算認定を含む市長提出議案16件を、いずれも原案のとおり同意・可決・認定しました。  
また、議員提出議案3件も全会一致で可決しました。

▷関連4~7ページ

令和3年度決算を  
認定しました

議案第65号令和3年度一般会計歳入歳出決算認定ほか4件

9月15日、16日に予算決算委員会を開催して決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。



# 伊良湖岬小新築 進めた令和3年

議案第63号令和4年度一般会計補正予算（第5号）

伊良湖クリスタルポルト施設  
改修に係る経費などの予算を  
可決しました

伊良湖クリスタルポルトの外壁や内装などの改  
修経費や、道路・河川等の安全対策に係る経費  
が盛り込まれました。



議案第70号令和4年度一般会計補正予算（第6号）

高齢者等のインフルエンザ  
予防接種の無料化に係る経費  
などの予算を可決しました

インフルエンザ予防接種を希望する65歳以上、  
または60歳以上で特定の疾患（心臓、腎臓、呼  
吸器機能障害など）を有する方が、無料で予防  
接種を受けられるための予算などが盛り込まれ  
ました。



# 一般会計

歳入総額 294億4,729万円

歳出総額 284億6,542万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

令和3年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満四捨五入)

# 令和3年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月15日、16日の2日間にわたり開催された予算決算委員会において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

# 特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

※万円未満四捨五入

		歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引額(A)-(B)	
特別会計	国民健康保険	76億4,762万円	75億4,830万円	9,932万円	
	後期高齢者医療	8億3,004万円	8億2,749万円	254万円	
企業会計	水道事業	収益的収支	12億6,433万円	11億8,231万円	8,203万円
		資本的収支	2億8,457万円	5億7,209万円	▲2億8,752万円
	下水道事業	収益的収支	26億9,352万円	25億8,841万円	1億 511万円
		資本的収支	7億5,650万円	13億2,632万円	▲5億6,982万円

水道および下水道事業会計(資本的収支)の不足分は、損益勘定留保資金などで補填されました。

## 財政指数等

経常収支比率が悪化しているが、本市の財政は健全性を保っているかと捉えていいか。

経常収支比率の上昇は、単年度限りの特殊要因であること、財政健全化判断比率などの財政指数は健全な水準を保っていること、基金残高も十分な規模を確保していることから、総合的に判断して健全性を保っていると認識している。

## 交通安全啓発事業

問 自転車用ヘルメット購入補助実績が予算の30%ほどだが、理由は。

答 本市では、自転車に関係する事故発生件数がここ3年減少傾向にあること、自動車の保有台数が県平均より多いことから、特に65歳以上で、自転車に乗る方が少ないためと考えられる。



総務費  
26億8,910万円

## 児童発達支援センター運営事業

問 児童発達支援センター(あおぞら園)が開設されて1年が経過したが、その成果は。

答 利用している子どもは、遊びの経験や周囲への関心が広がり、食事などの基本的な生活習慣が少しずつ身に付いている。さらには、支援センターと保育園等を併用で通園できるようになった子、保育園等に移行した子がいる。

問 運営から見えた課題は。

答 発達支援教室とは異なり、受給者証が必要となる障害児の福祉サービスであるため、利用を迷う保護者もいた。このような方にも、子どもの発達に必要なサービスであると理解していただき、利用につながるよう努めていく必要がある。



民生費  
99億1,042万円



衛生費  
37億7,653万円

### エコ・ガーデンシティ構想推進事業

**問** 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金の交付件数が、令和2年度の40件に対し、令和3年度が50件と増加した要因は。

**答** 脱炭素の流れやエネルギーを取り巻く社会情勢、省エネルギーに対する意識向上などから、ニーズに合った支援を拡充したことで、増加したと考えている。

**問** 創設された燃料電池自動車（FCV）購入費補助金の交付実績がなかったことについて、どう捉えているのか。

**答** FCV自体が普及の初期段階であり、採算性などから市内に水素ステーションがないこと、まだ車両価格が高額であることなどが要因と考える。



商工費  
5億8,678万円

### 商業団体支援事業

**問** プレミアム付商品券について、デジタル商品券の販売方法での課題は。

**答** 紙に比べてデジタルは、当初の販売が伸び悩んだこと。また、それに伴い、販売対応に苦慮したこと。

**問** 取扱店舗からの意見は。

**答** 7割以上の店舗から、売上増加の効果があったとの意見や、デジタル商品券は、換金等の事務処理は大幅に減ったが、操作を簡素化してほしいなどの意見もあった。

**問** プレミアム付商品券の使用実績として、189店舗で約1億3千万円が使われたが、その効果は。

**答** 消費の拡大につながり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店、宿泊施設はもとより、それに関連する仕入れ等の業者にも大きな支援となった。



土木費  
28億9,024万円

### 公共交通推進事業

**問** 観光タクシー運行事業への補助金交付の成果は。

**答** 市内タクシー事業者2社が、事業を実施した。愛知県まん延防止等重点措置中だったこともあり、3回6名の利用で実績は多くないが、大きく減収しているタクシー事業者の新たな取り組みを支援できたと捉えている。

**問** ぐるりんバスやタクシーの利用と事業者が連携した取り組みの成果は。

**答** 事業者から、来店するきっかけにつながった、継続して実施してほしい等の好意的な意見があった。



教育費  
30億8,558万円

### 小学校教材購入事業

#### 中学校教材購入事業

**問** 児童生徒が一人一台タブレットを活用したことによる、児童生徒、教員の反応は。

**答** 児童生徒は、どこでもすぐにタブレットが使えるようになり、意欲的に活用する姿が見られる。教員は、欠席者もオンライン授業に参加できることから、学習の遅れを心配する度合いが減った。

**問** ICT支援員の活用状況とその効果は。

**答** タブレットに不具合があった場合は、電話での一時対応や学校へ出向き対応。また、各小中学校に定期的な支援員が巡回して、教員等からの質問に対応している。支援員の配置により、タブレットを不安なく使えている。

■令和4年第3回定例会議案一覧

議案番号	市長提出議案
55	教育委員会委員の任命 (田中 早苗氏)
56	公平委員会の委員の服務の宣誓に関する条例及び職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正
57	職員の定年等に関する条例等の一部改正
58	職員の育児休業等に関する条例の一部改正
59	観光情報サービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正
60	特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
61	訴えの提起
62	福江小学校教室棟長寿命化改修工事請負契約
令和4年度補正予算	
63	一般会計補正予算(第5号)
64	水道事業会計補正予算(第1号)
令和3年度歳入歳出決算認定	
65	一般会計
66	国民健康保険特別会計
67	後期高齢者医療特別会計
68	水道事業会計
69	下水道事業会計利益の処分及び決算認定

■追加議案

議案番号	市長提出議案
令和4年度補正予算	
70	一般会計補正予算(第6号)
議案番号	議員提出議案
議発2	議会委員会条例の一部改正
議発3	議会会議規則の一部改正
意見書2	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

## 主な質疑

議案に対する  
委員会・本会議での  
議員の質疑・意見です

議案 No.62

### 福江小学校教室棟長寿命化改修工事請負契約

**問** 児童への安全対策や、近隣も含めた騒音対策への配慮は。

**答** 安全対策は、工事現場を高さ約2メートルのフェンスで覆い、出入口には施錠をして管理する。また、

工事車両の出入りは、状況に応じて警備員を配置する。騒音対策として、大きな音が出る作業は、作業時間、作業日、時間帯等に配慮して進める。

**問** 世界情勢が変わる中で、物価上昇もある中、どう品質維持を図っていくのか。

**答** 建築資材の不足や高騰も考えられるため、必要に応じて代替え資材の確保や施工方法の見直しなど、契約変更も含めて品質確保に適切に対応したい。

(9/6 文教厚生委員会)

議案 No.58

### 田原市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

**問** 第2条第4号の非常勤職員とは、どのような職員を対象にしているのか。

**答** 会計年度任用職員などの非常勤職員のうち、子育て世代の男性職員を対象と想定している。

**問** 本市においては、この制度を利用される方が少ないのではないかと。思うが、どのように考えているのか。

**答** 本市のこれまでの状況などから、制度を利用する職員が直ちに増加するとは考えられないが、育児休業の取得を希望する職員が出てきた場合に備え、制度の整備をしておくことは必要と考えている。

**問** 非常勤職員にどのように周知していくのか。

**答** 任用の際に本人に渡している「会計年度任用職員になるにあたって」という任用の留意事項に記載されたしおりに、条例改正の内容を追記して周知を図る。

議案 No.59

### 田原市観光情報サービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正

**問** 第3条第1項中「行わせる」を「行わせることができる」と改める理由は。

**答** 指定管理者に限らず、市が直営で管理を行うことができるように改めるもの。

**問** 今回追加する伊良湖観光情報サービスセンターの今後の管理方法は。

**答** 伊良湖観光情報サービスセンターの改修工事期間中は、市が直営で行い、施設再開後は、施設管理に

関する業務を指定管理者に行わせていきたいと考えている。

(9/6 総務産業委員会)

**議案** No.63

**令和4年度一般会計補正予算(第5号)**

**芦ヶ池農業公園運営事業**

**問** 工事発注期間中の来園者への影響は。

**答** 遊具は1週間程度を使用禁止とし、来園者が少ない平日の施工を考えている。連絡路は2カ月ほど通行止めとする。

**森林整備促進事業**

**問** 衣笠山の整備範囲を増加した理由は。

**答** 県や専門業者と改めて精査したところ、近年頻発する長雨や豪雨により、特に影響が及ぶ生活圏エリアを優先的に一括整備した方が、より効果的であるとの結論に至ったため。

**観光施設整備事業**

**問** 伊良湖クリスタルポルト改修工事をこの予算規模にした理由は。

**答** 交通および観光拠点として早急に機能回復を図る必要があると認識

している。今回、利用者の安心・安全を担保するため、外壁改修など最低限の工事とした。

**問** 最低限の改修では、今後長期的に使用していくと、追加の改修リスクがあるのではないか。

**答** 追加改修のリスクは、年々高まると認識しており、今後、建て替えを含め伊良湖クリスタルポルトの在り方を早急に考えていく。

**港湾管理事業**

**問** 泉港のしゅんせつ工事を実施する理由は。

**答** 砂の堆積が進んだ結果、船の航行にも支障が出るようになり、航路の安全を早急に図るため。

**中学校管理運営事業**

**問** 赤羽根中学校の校舎屋上の改修工事とは。

**答** 屋上パラペットのモルタル部分に落下の恐れがあるため、アルミ製の笠木で覆う工事を予定している。

**図書館・田原文化広場・渥美文化会館・総合体育館運営事業**

**問** なぜこの時期にWi-Fiシステムの構築をするのか。

**答** 使いづらいという利用者からの声もあり、利用者の利便性の確保、安定した通信設備の確保が必要であることから、緊急性が高いと判断したため。

(9/8 予算決算委員会)

**議案** No.70

**令和4年度一般会計補正予算(第6号)**

**物価等価格高騰緊急支援給付金支給事業**

**問** 外国籍の方はどうか。

**答** 基準日である10月1日において、住民基本台帳に登録されている方が対象となる。今回、租税条約の適用を届け出ている方がいる世帯は、対象外との通知が国から示されている。

**問** 世帯主が病気などで自ら申請ができない場合はどうか。

**答** 世帯の構成員や親族などが、代理人として手続きを行う。

**成人感染症予防事業**

**問** 10月1日から高齢者インフルエンザ予防接種が始まるが、自己負担の補助が出ることについての周知方法は。

**答** 従来から対象者に発送している個人通知に、自己負担分を支払う必

要がないことを記載し、10月の接種に間に合うよう案内する予定である。

**新型コロナウイルスワクチン接種事業**

**問** 10月15日から集団接種会場を田原文化会館から田原福祉センターに移行する理由は。

**答** 新型コロナウイルス感染症拡大防止の行動制限が緩和され、各種イベントが開催されるようになり、集団接種会場としての利用がでなくなってきた。会場を、継続して安定利用ができる田原福祉センターに移行する。

(9/27 予算決算委員会)

**意見書を提出しました。**

田原市教員組合からの陳情を受け、9月6日の文教厚生委員会審査後、9月27日の本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣などに意見書を提出しました。

▽定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

※内容はホームページでご覧いただけます。  
(QRコードからもアクセス可能です。)



ここが聞きたい

# 一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

## 公共施設の男性トイレにサニタリーボックス（汚物入れ）を設置する考えは

市役所庁舎に設置し、観光施設などは施設管理者と調整して設置に努める



辻 史子

公明党田原市議団



## 女性デジタル人材の育成の推進について

**問** 女性のデジタル人材育成は、女性の経済的自立に向けて、また女性人材の成長産業への円滑な移動支援を図る観点から極めて重要である。そこで、国の地域女性活躍推進交付金を活用して、デジタルスキルの習得支援の講座など事業を行っている先進自治体があるが、本市の考えは。

**答** 普及・啓発や情報発信に取り組む中でニーズを把握し、交付金等の活用を踏まえ、女性のデジタルスキル習得支援などの課題解決が図られるような施策や事業を検討していく。

**問** 育児や介護などで時間的制約があっても、デジタルスキルを習得してサポートを受けながら就労希望がかなえられる機会を提供する支援ができないか。

**答** 「親子交流館すくっと」において、出産・育児により休職、離職した方の相談を受け付けている。また、育児や介護休業などが取得でき、多様で柔軟な働き方が可能となるファミリーフレンドリー企業の登録促進や、テレワークの導入など多様な働き方によるワーク・ライフ・バランスの推進に

ついて普及・啓発を行っている。今後も、制度の浸透と充実に取り組んでいく。

## 男性トイレのサニタリーボックス設置について

**問** 男性特有の前立腺がんや膀胱がんの患者が、使用済みの尿漏れパッドを捨てるためのサニタリーボックスを、公共施設の男性トイレに設置する考えは。

**答** まずは市役所庁舎に設置し、設置目的や設置個所の周知を行っていく。観光施設をはじめとするその他の施設には、市民だけでなく本市を訪れた方が安心して利用できるように、施設管理者と調整して設置に努めていく。





小川 貴夫  
自由クラブ

## 事業者主体で稼ぐ温泉事業を展開するための事業とは

温泉部会を中心に取り組みを行う



### 伊良湖温泉の活用について

**問** 伊良湖温泉の課題は。

**答** 伊良湖温泉に入浴できる施設が本年8月現在で2施設にとどまっているため、事業者の利用拡大と、引き続き日本で一番新しい温泉という強みを生かし、スピード感を持って事業展開を行うことが必要である。

**問** 事業者主体で稼ぐ温泉事業を展開するための事業とは。

**答** 渥美半島観光ビューローが組織する温泉部会を中心にプロジェクトメンバーを募集し、取り組みを行う。11月下旬にスタンプラリーやマルシェなど、温泉関連イベントの開催を検討している。

**問** 観光庁の補助事業が不採択になった場合の対応は。

**答** 来年度も同様の補助金があれば、応募する予定。補助金申請には市と事業者間の連携が不可欠であるため、引き続き情報共有しつつ連携体制の強化を図っていきたい。

**問** 伊良湖温泉のPRについて、第2回全国高校生ブレゼン甲子園で優秀賞を獲得した福江高校と連携する考えがあるか。

**答** 地域に住む人が、その良さをPRすることで説得力が増し、魅力度が向上すると考えている。これまでと同様に情報交換を行い、若い方の意見を参考にしてPRに努めていきたい。

**問** 温泉の利用拡大のために、伊良湖地域の交通手段の確保が重要な課題と感じるが、伊良湖地域を周遊する仕組みの調査について、東三河の大学との連携事業を活用しては。

**答** 大学連携については必要に応じて検討していく。

**問** 大型温泉施設の支援策の考えは。

**答** 今後、国の補助制度も含め、検討していく。



- P 8 辻 史子 女性デジタル人材の育成の推進について  
男性トイレのサンタリーボックス設置について
- P 9 小川 貴夫 伊良湖温泉の活用について
- P 10 岡本 禎稔 高齢化が進展しても安全に安心して暮らせる社会の構築について
- P 10 内藤喜久枝 新型コロナウイルス感染症対策について  
認知症施策の推進について
- P 11 廣中 清介 プラスチックに係る資源循環の促進について
- P 12 内藤 浩 こころの悩み相談について
- P 13 岡本 重明 本市の教育について

# 新たにシニアカー購入補助制度を設けてはどうか

シニアカーだけでなく市民ニーズに合った方法を幅広く調査し、研究・検討していく



岡本 禎稔  
自由民主党田原市議員



## 高齢化が進展しても安全に安心して暮らせる社会の構築について

**問** 高齢者の安全運転および交通事故対策の現状は。

**答** 自家用車への後付けブレーキ踏み間違い防止装置の設置補助制度（サポカー補助金）や、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務とされたことに伴う購入補助を行っている。また、免許証返納支援として、70歳以上の運転免許証自主返納者にコミュニティバスの1年間無料乗車券や1年分の元気バス引換券、さらに運転経歴証明書の発行を受けた方に、たまぼポイント（1,000ポイント）を交付している。

**問** 介護保険の中にシニアカーのレンタル料支援制度があるが、自動車運転免許証を返納しても介護認定を受けるに至らない方への支援策として、新たにシニアカー購入補助制度を設けてはどうか。

**答** 移動手段としてどのような支援ができるか、交通安全面にも配慮しながら、国や県、近隣市町の動向を注視しつつ、シニアカーだけでなく市民ニーズに合った効果的な方法を幅広く調査し、研究・検討していく。

**問** 高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし、地域の中で交流を図る社会参画を促すための生活サポートについて対応策は。

**答** 免許返納状況等を踏まえた外出支援の検討や、民生児童委員、高齢者支援センターと情報共有した見守り活動、地域で助け合う生活ささえあいネットのほか、田原市地域包括ケア推進協議会の生活支援部会において、委員から生活サポートに必要な情報提供をいただき、施策を検討している。また、委員が地域の生活課題について地域ニーズ、地域資源を把握し、地域の生活課題解決に向けた検討を行っている。



## 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 本市のワクチン接種推進の取り組み状況は。

**答** 市内17医療機関における個別接種と市内2カ所における集団接種を実施しており、十分な接種機会の提供に努めている。接種予約もインターネットとコールセンターで受け付けており、対象者への個別通知、広報紙・ホームページにて周知・啓発を行っている。

**問** 5歳から11歳の子どものワクチン接種の努力義務化が発表されたが、本市の対応は。

**答** 接種を強制するものではなく、保護者と本人でよく話し合った上で判断できるように、接種券と一緒にワクチン接種に関する資料を送付し、安心して接種してもらえるよう努めていく。

## 認知症の本人や、介護者への支援の取り組みは

認知症初期集中支援チーム設置など、本人や家族の視点を重視し、包括的に取り組んでいる



内藤 喜久枝  
自由民主党田原市議員





廣中 清介  
無派不撓クラブ

## プラスチックに係る資源循環の促進について、本市の考えは

資源循環型社会の実現に向け重要な施策と認識し、新たな分別収集を検討している



### プラスチックに係る資源循環の促進について

- 問** もやせるごみ・こわすごみとしていた製品プラスチックの再商品化を目指す「プラスチックに係る資源循環の促進」について、本市の考えは。
- 答** 資源循環型社会の実現に向け重要な施策と認識しており、新たに分別収集を実施していく方向で検討を進めている。
- 問** 製品プラスチックを分別収集することで、新たに発生または増加する経費は。
- 答** 収集費用や、再商品化を行う事業者を引き渡すための圧縮保管費用等が増加すると想定している。
- 問** 製品プラスチックについて、どのような分別方法を想定しているか。
- 答** 従来の容器包装と製品プラスチックを一括して、「プラスチック類」として分別収集するよう想定している。
- 問** 分別収集の開始を令和7年度とする理由は。
- 答** 分別方法、収集頻度などの整理期間および市民への周知期間を踏まえたもの。また、令和7年度に

は豊橋市とのごみ処理広域化により生ごみなども分別方法が変わる予定のため、令和6年度に地区自治会単位での説明会と合わせて開催することで、市民の混乱や負担を軽減できると考えている。

- 問** プラスチックごみ自体を減らしていく取り組みも必要と考えるが、市の取り組みや展望は。
- 答** マイバッグ・マイボトルなどの利用啓発、「きりり☆宝市」などリユースイベントの開催、レジ袋の代用品としての市指定ごみ袋の販売など、プラスチックの削減を図る取り組みを実施している。今後も、市民や事業者と一緒に、引き続き資源循環型社会の実現に努めていきたい。



※ このQRコードを読み取ると発見した時の手順を確認できます。

- 問** 認知症施策の推進について
- 答** 認知症の本人や、介護者への支援の取り組みは、できるだけ早期から支援を行うため、認知症初期集中支援チームを設置するなど、本人や家族の視点を重視して包括的に取り組んでいる。本人への支援は、閉じこもり予防教室など通いの場づくりを推進し、介護者への支援は、家族介護者交流会の開催や、東三河広域連合による家族介護リフレッシュ事業を実施している。
- 問** 認知症になっても暮らしやすい地域づくりへの取り組みは。
- 答** 地域などで認知症理解の普及啓発を図るため、認知症サポーター養成講座などの開催や、認知症ケアパスを作成している。徘徊が心配される高齢者に登録を願ひし、警察や消防などに情報提供して、行方不明時の捜査協力と平常時の見守りにつなげている。さらに、衣服に貼ったQRコードをスマートフォンなどで読み取ると家族等へメールが届く、認知症見守りQRラベルシート事業を今年度から開始した。

# 小中学生がスマートフォン等から相談できる「デジタル相談ポスト」を開設する考えは

SNSを活用した悩み相談を、福祉部局とも連携して検討していく



内藤 浩

自由民主党田原市議団



## こころの悩み相談について

- 問** こころの悩み相談の取り組み状況は。
- 答** 本市では、保健師による相談、妊娠・出産・子育て総合相談窓口、ふるさと教育センター、障害者総合相談センターといった、悩みに応じた窓口において相談に応じている。そのほか、田原市社会福祉協議会では、心配ごと相談を開設している。
- 問** 本市のホームページにある相談先には、たどり着くまでに時間がかかり、相談をあきらめてしまうこともあると思うが、市の考えは。
- 答** 悩んだ本人や家族が、すぐに相談ができるよう、各種相談先のリンク表示を工夫するなど改善していく。
- 問** SNSなどを活用した24時間対応の相談支援があるとよいと思うが、市の考えは。
- 答** 本年7月から親子交流館でオンライン相談「すくっとLINE相談」を導入し、相談を開始している。今後は、このオンライン相談の実績や課題等を踏まえ、SNSを活用した相談窓口について検討していく。24時間対応の相談支援については、民間

の機関が行っているため、引き続き周知していきたい。

- 問** 小中学校における相談体制は。
- 答** まず学級担任が相談に対応し、深刻な相談内容は学校内の組織として対応する。相談内容に応じてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員等との連携により、悩みの解決に向けた支援体制を整えている。
- 問** 小中学生がスマートフォン等から悩みを相談できる「デジタル相談ポスト」を開設する考えは。
- 答** タブレットをはじめとするICT機器を活用するに当たり、児童生徒のプライバシーに配慮した相談のルールや仕組みづくりを研究するとともに、SNSを活用した相談について、福祉部局とも連携して検討していく。

## 議会ホームページで本会議（一般質問）の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議（一般質問）の映像を見ることができます。



### 利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

## スマートフォンで議会だよりが読めます

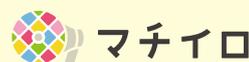
無料アプリ「マチイロ」で「議会だより」をスマートフォンでご覧になれます。

簡単な設定を行えば、議会だよりの発行に合わせて通知が届き、移動中などちょっとした空き時間にご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。



### 利用方法

- ①下のQRコードかアドレスからアクセス
- ②「マチイロ」をダウンロード
- ③個人設定→お住まいの地域を「田原市」に設定



マチを好きになるアプリ



[https://machihiro.town/lq/aichi\\_tahara](https://machihiro.town/lq/aichi_tahara)



岡本 重明  
みんなの党愛知

## 先の大戦の歴史解釈を市はどう捉え、教育に取り組んでいるのか

歴史解釈については、市が行うものではない



### 本市の教育について

**問** 先の大戦の歴史解釈を市はどう捉え、教育に取り組んでいるのか。

**答** 先の大戦にかかる歴史解釈については、市が行うものではない。歴史学習は教科書を通じて広く学ぶとともに、児童生徒が自ら調べ学習を行うことで理解を深めている。

**問** 先の大戦を自衛戦争もしくは侵略戦争、また捏造慰安婦問題が教科書にどのように記載されているのか。

**答** 本市の小中学校で使用している教科書には、その言葉の記述はない。

**問** 複式学級におけるメリットとデメリットは。

**答** メリットは、異なる学年の児童の交流を深める機会が増え、個々の理解度に応じた対応が見込める。デメリットは、担当教員が複数の学年を一人で指導するため負担が増え、複式学級に対応した指導力の向上が必要となる。また、複式学級になると教員数が1名減となるため、教員一人当たりの業務量が増し、学校経営に負担がかかる。

**問** 教員の多忙化改善に向けた取り組みや、改善後の教員および児童生徒へのメリットは。

**答** ウェブ会議対応や資料の必要性の見直し、校務支援システム導入による成績処理、メッセージ機能を活用した教員間の情報共有などにより業務の軽減を図っている。改善後の教員のメリットは、声かけや見守りの時間が増えることにより、子どもの性格、興味・関心、子ども同士の人間関係、生活環境などに目が届き、子どもに対する理解が一層深まることにつながる。児童生徒のメリットは、学校での活動に教員の支援が行き届く機会が増え、より快適な学校生活を送ることが見込まれる。

**問** 小規模校の特色を最大限生かした教育体制を整備し、小学生移住などの地域人口増加につながるような発展的思考を持っているのか。

**答** 考えていない。

お知らせ information

### 令和4年第4回定例会（12月定例会）会期

11月30日(水)～12月14日(水)

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
			本会議 (議案審議)		本会議 (一般質問)	
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (一般質問)		文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会		
11	12	13	14	15	16	17
	議会運営委員会		本会議 (採決等)			
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開会時刻は10時です。(12月7日 総務産業委員会のみ13:30開会)※日程および時間は、変更になる場合があります。

☒マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。(感染症対策をお願いします)

## 行政視察報告

# 総務産業委員会

(7月20日～22日)



### 【視察テーマ・視察先】

- ・「スマート農業について」  
(茨城県つくば市 農研機構)
- ・「防災対策について」(静岡県伊豆市)
- ・「温泉を活用したウェルネスツーリズムについて」  
(静岡県賀茂郡東伊豆町)



### 【参考になった点・所感】

- ・農業データ連携基盤WAGRIを介した精密出荷予測システムを活用することで、適期収穫による圃場廃棄の低減と収益向上が期待できる。(農研機構)
- ・市民が中心となって開催された防災に関するワークショップなどでは、中学生や子育て世帯も参加することで、より活発な協議がされるようになった。(伊豆市)
- ・大学と連携し町の魅力発信に取り組んでおり、活動を通じて東伊豆町に興味を持ち、町内に就職する学生がいるなどの成果が出ている。(東伊豆町)

## 行政視察報告

# 文教厚生委員会

(7月25日～27日)



### 【視察テーマ・視察先】

- ・「学校プールの集約化や共同利用に関する取り組みについて」(岡山県倉敷市)
- ・「バイオマスについて」(岡山県真庭市)
- ・「町営プールによる水泳授業実施について」  
(大阪府泉南郡岬町)



### 【参考になった点・所感】

- ・維持管理費コストカットを主目的に、学校プールの共同利用、民間・市民プールの活用等、それぞれの地域特性に応じた集約手法を進めている。(倉敷市)
- ・バイオマス発電に木くずや未利用材など地域資源を活用し、地域内循環させることで、地域産業の発展や雇用の創出、またカーボンニュートラルにも寄与する仕組みを確立している。(真庭市)
- ・1回の水泳授業は、送迎・着替え分を含み3時限分となるが、70分の入水時間は確保できており、教育方針にある授業時間に支障はない。(岬町)

## 行政視察報告

# 広報広聴委員会

(8月3日～4日)



### 【視察テーマ・視察先】

- ・「議会だよりの編集について」  
「広報広聴活動について」(埼玉県大里郡寄居町)
- ・「オンラインでの意見交換会について」  
「高校生との対談について」(埼玉県富士見市)



### 【参考になった点・所感】

- ・「読まれない議会だよりに出す意味なし！」という方針で編集している。また、町民取材では「名前、顔写真、コメント」の3点セットで掲載し、記事の親近感を高めている。(寄居町)
- ・高校生との対談は、若者の政治参画意識を高め、若者視点の市の課題を知るために必要である。これまで市長へ提案書を提出したこともある。(富士見市)

常任委員会では行政視察のほか  
勉強会や市外視察なども  
行いました。



# 議員とたはらトーク in 図書館



7月17日（日）中央図書館で、20代から70代以上の方にご参加いただき、まちの気になることについて意見交換を行いました。いただいたご意見は全て議員全員で共有し、政策提案等の検討材料としていきます。

## 主な意見

教育はまちづくりの基礎だと思  
うので、教育予算を確保してほしい。  
充実した教育環境は、移住の  
きっかけにもなると思う。

人権教育でもある包括的  
性教育にしっかり  
取り組んでほしい。

障害者・高齢者施策の  
充実を望む。障害者を  
もっと理解してほしい。

食品ロス削減への  
取り組みを強化してほしい。

市民ニーズを的確に  
つかんでほしい。



## 感想

議員とマンツーマン  
で話せて良かった。  
議員を身近に感じた。

勉強になったので、  
継続的に開催して  
ほしい。

今後も、開催していく予定です。  
お気軽にご参加ください！

7月12日  
東三河市町村議会議長協議会  
定期総会



東三河8市町村議会議長が一堂に会し、道路整備促進などの議案を審議しました。

7月15日  
清田小学校6年生議場見学



議会の仕組みを学ぶため議場などを見学し、議長が議会の役割などを紹介しました。

7月31日  
愛知県消防操法大会出場激励会



議長をはじめ地元議員らが出席し、県大会に出場する泉分団を激励しました。

8月2日  
東三河市町村議会議員・  
議会事務局職員合同研修会



3年ぶりに東三河8市町村の議員・議会事務局職員が集い、研修会が開催されました。

8月27日  
田原市総合防災訓練



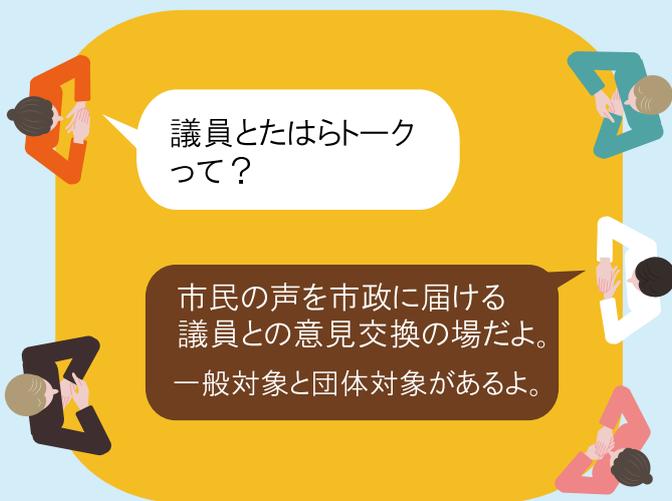
議員も参加し、スマートフォンを活用した情報伝達訓練を行いました。

9月9日・12日  
行政評価勉強会



令和3年度に実施した市の事業について、その取り組みと成果を確認するための勉強会を開催しました。

## 議員とたはらトーク



●一般対象とは  
市民館などで開催します。申込み不要、どなたでも参加できます。

※新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用と検温・消毒にご協力ください。また、入場制限を行う場合があります。

●団体対象とは  
5名以上で共通の活動をしている市民や団体であれば、開催をリクエストできます。お気軽にお申込みください。

議員とたはらトーク 🔍 検索

お問い合わせは、お近くの議員が議会事務局まで(☎23-3533)

最新情報は  
ウェブサイトでご確認ください→  
(団体申し込みもこちらから)





# まちかど インタビュー

Vol.35

萱町お囃子保存会

— どのような団体ですか。

田原祭りの屋山車に欠かせないお囃子を担当し、お囃子という伝統文化を継承して演奏者を育てる大事な役目を担っている団体です。

— 活動を始めたのはいつ頃ですか。

保存会の発足は約30年前ですが、指導を始めて34年になります。多い時には40人ほどの会員がいましたが、今は総勢20人ががんばっています。

— 会員の構成を教えてください。

下は小学3年生から、上は34歳まで幅広い年齢層で活動しています。コロナ禍で田原祭りが2年行えず、お囃子への世間の関心が薄れてくることを心配しましたが、今年は演奏が行えたので、入会希望者が出てきてくれることを期待しています。



— 指導方針について教えてください。

「目で見て、耳で聞いて、体で覚えなさい。」これが基本です。体で覚えれば、何年経っても忘れません。必ず相方をよく見ながら演奏するように指導しています。

— やりがいは何ですか。

子どもに教え、その成長を見ることが楽しみです。努力する子を育てたいです。祭りでのお囃子演奏は、できて当たり前の世界。自信满满で演奏してほしいので、演奏後の評価もはっきり言います。ただ、ミスがあっても個人を責めることはしません。みんなで補い合える連帯感を重視しています。

— 目指すものは何ですか。

指導者の育成です。伝統文化を継承するには、それを引き継いで指導できる人間を育てなければなりません。今の役目を譲り終えたら、見守り役になりたいと思っています。



(聞き手…廣中清介) 令和4年9月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ [gikai@city.tahara.aichi.jp](mailto:gikai@city.tahara.aichi.jp)

## 募集

パートさん  
しその葉の摘み取り作業

内職さん  
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

# TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45  
自宅: TEL0531-37-0447



## 社会福祉法人福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園  
特別養護老人ホーム 田原福寿園  
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里  
ケアハウス パシフィック  
特別養護老人ホーム 渥美福寿園  
地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。